



「夏休みに向けて」

教頭 松田 和慶

4月に新1年生7名を迎えて開校24年目がスタートし、約4か月がたちました。昨年5月から新型コロナ対応が大きく変わりましたが、制限のない新年度スタートは令和元年度以来でした。その頃の全国の休校、厳しい制限など、対応に右往左往した日々を思い出しても1つ1つははっきりと覚えていない次第で、本当に人は、というより私は忘れていく生きものだと思っています。しかし、コロナ禍で何度も語られた『当たり前前の生活がどんなにありがたいものだったのか』、はこれからも忘れないように努めたいと思います。制限の多かった生活で価値観の変化や多様さが生まれ、人と人が会って一緒に活動できる大切さを改めて感じたりした部分もあるので、学校生活も新しい視点で、より充実した内容になるよう進めていきたいと考えています。

ところで、「大人になると時間がたつのが早く感じる」ことを、心理学では「ジャンネの法則」と言うそうです。「生涯のある時期における時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例する」というものです。例えば50歳の人であれば、1年の長さは人生の50分の1ですが、15歳の高校1年生にとっては15分の1、6歳の小学1年生にとっては6分の1にすぎません。高校1年生の1年は50歳の約3年分、小学1年生の1年は約8年分に長く感じるというわけです。大人は未経験のことが少なくなるため、毎日が新鮮味に欠け、何となく過ごしてしまうことが多くて一日が短く感じられる、とも言われているようです。しかし、これには個人差があるので、体感的な時間感覚を遅くするには好奇心を持って新しいことにチャレンジすることが大切、ということです。

本校では貴重な高校生活を意欲的に過ごし、チャレンジしていく学習活動をさらに増やして、整えていきたいと考えています。

おかげさまで1学期は3年生の『現場実習』、夕張での『社会見学』、寄宿舎での『七夕会』や散策、外出などを無事実施することができました。行事だけではなく毎日の安定した楽しく明るい学校生活にむけて、送迎を含め、ご家庭で支えてくれたご協力に感謝いたします。

また、夕張市にはスクールバス通学、社会福祉協議会には外出でバス運行の大きな御協力をいただき、本当にありがとうございました。

これから夏休みとなりますが、事故や熱中症などには十分気をつけて、有意義な楽しい日々を過ごしてほしいです。パリオリンピックも始まりでしたね。

2学期始業式に、元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。

1 学期を振り返って

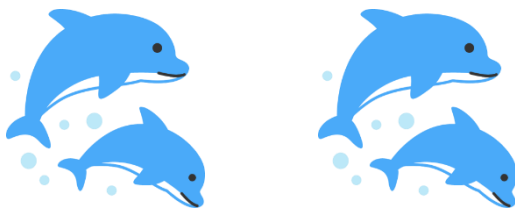
桜から新緑そして夏本番 ～1 学期を振り返る～

1 学年 中山飛鳥

1 年生が入学してから、3 ヶ月が過ぎました。昨年度は新入生がいなかったのでこの 4 月は本当に嬉しいスタートとなり、七色の虹がかったような 4 月を迎えることができました。新しい出会い、環境、学習と、夕張で始まった高校生活に慣れるのは本当に大変で激動の 1 学期だったと思いますが、7 人それぞれが学校生活にも慣れ、自分らしさを発揮しながら学校生活を楽しんでいる様子に逞しさを感じ、うれしく思っております。

普段の授業においても、1, 3 年一緒に授業も多く、先輩や同級生の名前を覚え、協力して学習を進める様子が多く見られています。6 月に行われた生徒会活動の体育祭や、7 月の社会見学においても皆で楽しい時間を共有することができ、充実した 1 学期となりました。

保護者のみなさまには、いろいろな面でご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。今後も生徒の成長を支えていけるよう、支援を続けていきたいと思いますので、今後ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



～1 学期を振り返って～

3 学年:服部幸次

今年3月に卒業生を送り出した後は寂しい思いをしたと思いますが、4月からは新たな仲間を迎え入れ、気持ちを新たにスタートできたと思います。今年も全校生徒で学ぶ機会を多く設けたことにより、すぐに後輩たちの名前を覚え、積極的に関わることにより関係が深まりました。いつも笑顔で過ごせたので、とても充実した日々だったと思います。

今学期は、落ち着いて学習に向かえたこと、率先して役割を担えたこと、また今まで以上に集中力を見せてくれるなど、先輩としての自覚や責任を感じさせてくれました。これまでの貴重な経験があってこそその成長と考えています。いよいよ学校生活もあと数か月、さらに成長し社会へと飛び立てるように支援していきたいと思います。さらなる活躍に期待しています。



【↑ 社会見学で仲間との一枚】

【寄宿舍】



寄宿舍の様子



今年は新入生4名を迎え、全員で5名でスタートしました。1年生は新しい環境や普段と違う生活に、緊張や寂しさもあったかもしれませんが、生徒同士や職員との交流の中で、少しずつ寄宿舍生活に慣れるために頑張っています。

余暇時間では、全員で学校周辺の大自然の中の散歩や、体育館遊び、舎内で個々にゲームやハンドメイドを楽しむ時間などを持ち、心身のリフレッシュを図っています。

これからも日々の生活を通じてお互いをもっと理解し合い、笑い声が響き、みんなで成長していける寄宿舍にしていきたいと考えています。



日常の様子



外食



防災オリエンテーション



近隣散歩



公園にて



七夕会



1 日防災学校

5月30日(木) 1日防災学校を行いました。地震を想定した避難訓練では、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」の「おはしも」の説明を受け、生徒それぞれが意識して訓練に向き合っていました。

避難後には、夕張消防署から消防車や水消火器、煙幕体験を行うための煙を発生させる装置などを持ってきていただき、体験的な活動を行いました。今年度から地域の方も見学に来られ、体験の様子や生徒の様子を見ていただきました。体験活動のなかでも特に消防車の見学では、消防服を着させていただいたり、消防車の運転席に乗せていただいたりなど、普段の日常生活では味わえない体験、経験をさせていただきました。

まとめの講話では夕張の地形、特色、学校の側にある山や川についてお話をしていただき、地震や火災だけではなく、さまざまな災害が起きる危険性があることを生徒たちに伝えていただきました。

来年度には、今年度の内容に加え、防災について深く学べる学習や体験を盛り込んでいこうと考えています。どこで起きるかわからない災害に備えて、緊急時に役立てる内容、計画を実施していきたいと思います。このような活動は、「楽しかった」だけで終わるのではなく、「勉強になった」と思えるような活動を目指し、生徒への理解を深めていきたいと思います。

担当 伊藤海音

社会見学

7月4日（木）、社会見学に行ってきました。今年度は夕張市内の3か所を見学してきました。1か所目は「夕張市石炭博物館」です。当時の貴重な写真や資料を見学し、夕張の歴史を肌で感じることができました。地下の坑道では係の方にドラムカッターを動かしていただき、大きな音にびっくりしながらも当時の炭鉱の様子を想像することができました。

2か所目は「ライフネットゆうばり」が運営する「カレーハウス朋」での昼食。利用者さんがお仕事をされる様子を間近で見て、またおいしいカレーをいただくことができ、楽しい時間を過ごすことができました。

最後は「小野農園」での石うすでそば粉をひく体験を行わせていただきました。普段の食事で口にするそばがどのようにできるのか実際に体験することができました。そばうちの機械から出てくるおそばにみんな興味津々でした。

今年度の社会見学では、夕張の歴史に触れ、多くの体験をさせていただき、より「夕張」を身近に感じることのできる貴重な学習の機会となりました。今回の社会見学の実施にあたり、ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます。

担当 宮島 富久子

【いじめの認知件数について】

- ・本校において（令和6年4月～7月現在）いじめの認知件数は0でした。

今後も、すべての生徒が安心して学習活動に取り組めるよう、保護者と連携を図りながら、学校全体で「いじめ」の防止と早期発見に努めていきますのでよろしくお願いいたします。

2学期の行事予定

8月26日（月）	・・・2学期始業式
9月 2日（月）～ 6日（金）	・・・校内実習
10月26日（土）	・・・学校祭（10/28 振替休日）
12月20日（金）	・・・2学期終業式

